

第19回（令和6年度）
鶴岡市芸術祭参加公演総括表

【40公演47団体の実施報告のまとめ】

特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会

目次

1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議・実施結果 等	……	1 ページ
2. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	……	2 ページ
3. 参加公演実施状況一覧	……	3 ～ 5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負	……	6 ～ 11 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	……	12 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点と来年度への抱負	……	13 ～ 14 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	……	15 ～ 16 ページ

1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議・実施結果等

❖NPO鶴岡市芸術文化協会 芸術委員会 (会場:アートフォーラム)

- ❖第1回 令和6年 6月 6日(木) 午前11時～『芸術祭開催について』
- ❖第2回 令和6年 7月 9日(火) 午前11時～『芸術祭参加公演、協賛金について』
- ❖第3回 令和6年12月 6日(金) 午前11時～『芸術祭賞授賞団体の決定および閉幕のつどいについて』
- ❖第4回 令和7年 2月19日(水) 午前11時～『芸術祭の総括等について』

❖参加公演～特別参加含む～

- ❖参加公演数 40公演(県参加 27公演)
- ❖参加団体数 47団体(県参加 34団体)
- ❖参加人数合計 2,373名
- ❖入場者数合計 18,836名

❖第19回鶴岡市芸術祭開幕式典

- ❖日 時 令和6年8月31日(土) 午前11時～午前11時40分
- ❖会 場 鶴岡アートフォーラム
- ❖入場者数 86名

❖第19回鶴岡市芸術祭閉幕のつどい(授賞式・懇親会)

- ❖日 時 令和6年12月21日(土) 午後3時～午後5時20分
- ❖会 場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖出席者数 135名

❖協賛者・協賛金

- ❖協賛者数 593件
(個人、企業、団体等)
- ❖協賛金合計金額 1,248,000円

❖協賛事業～5地域～

(藤島・羽黒・櫛引
・朝日・温海)

- ❖参加人数合計 3,256名
- ❖入場者数合計 7,138名

❖芸術祭賞選考委員会 (芸術祭賞選考委員19名)

- ❖委員長: 後藤和夫
- ❖副委員長: 小林功、梅津芳春
- ❖委員: 佐藤よし子、佐竹美津子、布川美與子、難波正喜、五十嵐悦郎、岩松美代、村山智昭、阿部由利、柿崎泰裕、藤間静貴久、齋藤健太郎、佐藤嘉男、高山千代子、田中芳昭、秋山かおる、榊原賢一

- ❖第1回選考委員会 令和6年 7月23日(火) 午後1時30分～ (アートフォーラム)
- ❖第2回選考委員会 令和6年12月 4日(水) 午後2時～ (アートフォーラム)

❖部門別小委員会

〈12月2日(月) 舞台部門邦楽(大衆芸能を含む)〉
邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠、洋楽、洋舞、演劇、大衆芸能

〈11月14日(木) 展示、茶道部門(民俗芸能部門含む)〉
美術、茶道、華道、文芸、民俗芸能

❖芸術祭賞

❖大賞

- 創立100周年記念・令和6年度白鬻社美術展(公募)
〈主催:白鬻社〉

❖準大賞

- 鶴岡土曜会混声合唱団 第73回定期演奏会
〈鶴岡土曜会混声合唱団〉

❖優秀賞(3団体) ～芸術祭参加公演順～

- ミュージカル「蜂子の皇子物語～神様と友達になった夏休み～」
〈主催:出羽庄内市民ミュージカル若手塾〉
- 第34回庄内水彩展 〈主催:庄内水彩画会〉
- 鶴岡吹奏楽団 第39回定期演奏会 〈主催:鶴岡吹奏楽団〉

2. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

※優秀賞:芸術祭参加公演順

	公演名	主催	代表 (※授賞当時)	部門	受賞理由
大賞	創立100周年記念・ 令和6年度白鷺社美術展(公募)	白鷺社	齋藤 拓	展示・茶道 部門	レベル、規模共に鶴岡が誇る美術展。創立100周年を記念し、創設期からのゆかりの作家たちの名作が多数展示され、一般や会員の意欲的な作品と並べることで、先達の息吹が現在に生きていることを示してくれた。また、世界的に活躍する絵本作家とのワークショップで制作した子どもたちの作品が会場入口と展示室に飾られ、白鷺社の過去・現在・未来を混在させた素晴らしい記念展であった。
準大賞	鶴岡土曜会混声合唱団 第73回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	佐藤 大吾	舞台部門	満席となった会場、団員は高校生から70代と幅広く、数々の大会受賞に輝くその実力を遺憾なく発揮した美しい歌声のハーモニーに観客は陶醉していた。どれも歌い込んだ曲とあって、完成度の高さを感じさせ、特に「歌の花束」は胸を打たれる歌声であった。長い歴史のある合唱団であるが、切磋琢磨し、指導者のレベルの高さを見てとれる公演であった。より深く合唱の本質に迫ろうとする演奏を称賛したい。
優秀賞	ミュージカル「蜂子の皇子物語 ～神様と友達になった夏休み～」	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	大井 卓磨	舞台部門	史実に基づいた物語を、観客にもわかりやすく表現されており、練習の成果が大いに発揮された舞台であった。また、市民ミュージカルの名のごとく、幅広い分野の人々とコラボレーションし創り上げられた舞台は、時代背景を美しく表現し、心打たれる場面も数々あった。昨年の発表から大きな進歩と飛躍が見え、その熱意と成果に拍手を送りたい。今後、益々の活躍を期待させる公演であった。
	第34回庄内水彩展	庄内水彩画会	鈴木 幸治	展示・茶道 部門	水彩画のとても奥深い色使いなど、作品は見事な描写である。濃くコントラストがはっきりした作品が多く、庄内の風景画の他に、工場・船から人物画・石膏デッサン彩色まで多様な題材をしっかりとタッチで描き上げられていた。展示はとても見やすく個性がはっきり出ており、水彩画の世界に引き込まれる展覧会であった。今後一層の活躍を期待したい。
	鶴岡吹奏楽団 第39回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	大場 輝和	舞台部門	ステージいっぱいのひな壇に楽団員と楽器が並び、管楽器・打楽器・鍵盤楽器のバランス良い迫力がとても心地よい演奏であった。また、吹奏楽の力強さが曲の内容を盛り上げ、奏者一人ひとりの力量と相まってその表現力には感動させられるものがあった。世界的管楽奏者をゲストに迎えての演奏とインタビューを交えた構成は、音楽の喜びと共に大きな学びがあった。「音楽は力なり」を実感する公演であった。

3. 参加公演実施状況一覧

第19回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
特1	山琴箏会第36回公演「翔」	山形県大正琴・文化箏愛好会	10/20(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	53	-	304	10
特2	「みんなの音楽会」 鶴岡放送児童合唱団定期演奏会	鶴岡放送児童合唱団	11/3(日・祝)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	27	-	364	7
特3	吉統舞踊学園モダンダンス公演	吉統舞踊学園	11/17(日)	荘銀タクト鶴岡	無料 *全席 御招待券	洋舞	鶴岡	○	25	-	300	

第19回鶴岡市芸術祭参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
1	創立100周年記念・ 令和6年度白鷺社美術展(公募)	白鷺社	8/28(水) ~9/8(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	143	167	2,670	305
2	鶴岡ジュニアオーケストラ 第2回室内楽チャリティコンサート	鶴岡市管弦楽社会教育連盟	9/1(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡		42	-	100	8
3	第35回庄内なつメロ会 歌と踊りのチャリティショー	庄内なつメロ会	9/8(日)	中央公民館	有料	大衆 芸能	鶴岡		21	-	300	12
4	あつみ作品展	温海芸術文化協会	9/12(木) ~9/15(日)	温海ふれあい センター	無料	展示	温海		22	88	75	
5	フォトサロン写楽 写真展覧会	フォトサロン写楽	9/12(木) ~9/16(月・祝)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		8	80	250	
6	第22回田川民話の会 語り市 “んだば、語てみっがの 泉町宿”	田川民話の会	9/14(土)	第三学区 コミュニティ 防災センター	無料	民俗 芸能	鶴岡		10	-	55	12
7	第54回錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/15(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	10	-	150	50
8	第58回さゞ波会民謡と舞踊のつどい	民謡・民舞 さゞ波会	9/22(日)	中央公民館	無料	民謡・ 民舞	鶴岡	○	19	-	150	
9	九重流朝暘清吟会 創設第150回記念大会	日本九重流詩吟 朝暘清吟会	9/22(日)	東京第一ホテル鶴岡	無料	吟詠	鶴岡	○	61	-	231	2
10	一東書道会鶴岡支部畊雅会 42周年かな書作展	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	9/27(金) ~9/29(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		14	49	192	1

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数
11	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	9/29(日)	アートフォーラム	有料	茶道	鶴岡		40	-	300	26
12	第2回ステンドグラス“光彩”作品展	ステンドグラス“光彩”	10/5(土) ~10/6(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	28	123	868	
13	第62回鶴岡市合同短歌会	第62回鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/9(水)	鶴岡市立図書館	有料 <small>*該草集代</small>	文芸	鶴岡	○	41	-	35	2
14	ミュージカル「蜂子の皇子物語 ~神様と友達になった夏休み~」	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	10/13(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	演劇	鶴岡	○	16	-	390	29
15	第4回佳興の会公演	佳興の会	10/13(日)	佳興堂 (庄内能楽館鶴岡教室)	無料	邦楽	鶴岡		3	-	30	5
16	荘内金管合奏団 秋の公演2024	荘内金管合奏団	10/13(日)	アートフォーラム	無料	洋楽	鶴岡	○	10	-	85	15
17	第91回つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	10/17(木) ~10/19(土)	中央公民館	無料	展示	鶴岡		10	80	310	5
18	第61回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな6流派	10/19(土) ~10/20(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	143	138	2,061	79
19	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	10/20(日)	致道館	有料	茶道	鶴岡		20	-	183	26
20	第29回庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	10/23(水) ~10/27(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	5	52	750	2
21	第30回飛雲会展	書道研究飛雲会	10/24(木) ~10/27(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	40	60	350	15
22	如月会水墨画展	如月会	10/24(木) ~10/27(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	18	59	250	15
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会	10/25(金) ~11/4(月・振休)	朝日中央 コミュニティセンター	無料	文芸	朝日		202	214	1,200	
24	裏千家秋の茶会	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	10/27(日)	荘内神社 参集殿ホール	有料	茶道	鶴岡		30	-	300	30
25	日本九重流鶴城清吟会 第48回吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/27(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	71	-	150	80
26	宝生流・観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会 他	10/27(日)	黒川能伝習館	無料	邦楽	鶴岡	○	15	-	30	5
27	第34回庄内水彩展	庄内水彩画会	10/29(金) ~11/4(月・振休)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	14	65	651	85
28	第76回庄内書道展覧会	鶴岡書道会	11/1(金) ~11/3(日・祝)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	880	880	1,200	

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品 作品数	入場者(延) 数	うち協賛者証 入場者数	
29	第15回写団はぐろ会員写真展	写団はぐろ	11/7(水) ~11/10(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	4	36	336	10	
30	秋季さつき盆栽展	鶴岡さつき盆栽研究会	11/8(木) ~11/10(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡		8	50	100		
31	表現舎刻一刻 第21回公演 龍伝・小太郎	表現舎刻一刻	11/9(土) ~11/10(日)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	37	-	502	46	
32	第22回バウムクーヘン オータムコンサート2024	バウムクーヘン	11/23(土)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋楽	鶴岡	○	83	-	627	7	
33	劇団だいこん座 第81回公演 「雨のち曇り時々晴れ」	劇団だいこん座	11/23(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	25	-	371	58	
34	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	11/24(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	16	-	250	10	
35	鶴岡吹奏楽団 第39回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	11/24(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	60	-	423	5	
36	鶴岡土曜会混声合唱団 第73回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/30(土)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	75	-	933	36	
37	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第24回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	12/1(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	24	-	1,010	30	
実施参加公演・団体 【40公演・47団体】													
								R6年度 第19回 合計	27	2,373	2,141	18,836	1,028

4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負

※公演内容は芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

【第19回鶴岡市芸術祭公演一覧プログラム掲載順】

第19回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
特1	山琴箏会第36回公演「翔」 ～しょう～	ステージ数5公演、チャレンジ曲も含めて15曲を演奏 翔のごとく羽ばたき、旅の気分もあじわい、感動のステージをつくります！	山形県大正琴・文化箏愛好会	毎年、芸術祭参加を目標に練習に励み、「今年が一番良かったねー！」と言いながら年を重ねてきています。ステキなステージパフォーマンスが出来たと思います。	第37回公演「協～かなう～」として開催します。いろいろな楽器との協力を得て、繰り広げられるステージの楽しさを届けられるよう練習を開始しています。
特2	「みんなの音楽会」 鶴岡放送児童合唱団定期演奏会	I 「歌の花かご」 II 三善晃 合唱曲集より III 合唱曲集「祝福あれ」 IV 音楽劇「まよなかのお客さん」	鶴岡放送児童合唱団	第1部の「歌の花かご」は、小・中・高生の年齢の違いを選曲で生かし、第2部・第3部は三善晃と信長貴富の作品や組曲をそれぞれの作風の味を十分に引き出したステージだった。第4部は、卒団する4名のソリストと合唱で、ファンタジックな音楽劇がフィナーレを飾った。	「歌の花かご」としてまとめている小品を基本とし、日本の優れた作曲家の組曲にチャレンジし、最後は来年度卒団する3名の団員が主役となる音楽劇に取り組む予定です。基本を大切にしながら多彩なステージを目指します。
特3	吉統舞踊学園モダンダンス公演	プログラムは1部2部の形式で児童から大人まで参加。 東北合同公演(仙台市)参加作品も記念に加える。	吉統舞踊学園	芸術祭に参加して公演が出来ることの幸せを今年も実感いたしました。もっとお客様に来ていただく為の努力を続けて行きたいと思えます。芸術祭が益々発展して、この地の文化が向上を続け、もっともっと子供達を大切にしたい。	もっと美しく夢のあふれる舞台を創り上げたいと思います。コロナ以降、子供達や大人の人々に、優しさや思いやりや夢が少なくなったと感じています。今が良ければ良いと言わず、本物の幸せを見つけて欲しいです。

第19回鶴岡市芸術祭参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
1	創立100周年記念・令和6年度白鷺社美術展(公募)	種 目: 日本画・洋画・版画・彫刻・工芸 特別展示: 「白鷺社ゆかりの物故作家たち」 「ワークショップ参加の子供作品」 他 約300点	白鷺社	創立者の偉業に感謝を込め、百年の歴史が鑑賞に役立つよう展示した。物故作家達、現会員、高校生、子ども達を分離せず、過去・現在・未来を混在した展示とした。また、特別賞受賞作品は、物故者作品と受賞者作品を並べて飾り、総展示数285点に達し、アートフォーラムを埋め尽くし創立100周年記念展を終了した。	この度の白鷺社は創立100周年記念展を精一杯努力し無事に終了することが出来ました。これを契機に、より一層努力し新しい時代へ邁進する覚悟です。長い間の地域の皆さまのご支援に感謝し、地方の芸術文化の向上に寄与してまいります。
2	鶴岡ジュニアオーケストラ 第2回室内楽 チャリティコンサート	バイオリンソロ「ロマンス」「メヌエット」「愛の挨拶」や、「低音ホルンとピアノのためのパガテル」等	鶴岡市管弦楽 社会教育連盟	大視聴覚室の照明の調整が出来ず、係の方に教えていただきながら進めたが、丁度リハーサルの時に暗すぎて、演奏者から「楽譜を読むことが出来ないので、リハーサルをやった意味がない」と言われたことが反省点である。	お出でいただいた観客の方から、もっと良いコンサートにするため、改善意見をいただくことによって、更に良いコンサートにしていきたい。場合によっては大ホールの使用も視野に入れ、関係者で話し合いを検討していく。
3	第35回庄内なつメロ会 歌と踊りのチャリティショー	会員21名、昭和道の歌を唄う。 2部は「青春のあの頃」という企画で想い出の曲をお届けする。 踊り、ゲストとの共演も予定。	庄内なつメロ会	今回、再び芸文協へ加盟させていただきました。日程の確保が出来るので、計画を立て易かった。協賛者証での入場者がもう少し多くなっていく方法等があれば良いと思う。	なつメロと言うと、若い人の入会者が少なく、会員数が増えない現状がある。大衆芸能の部門が年々淋しい現状ですので、出来るだけ続けて行きたいと思う。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
4	あつみ作品展	絵画、陶芸、写真、生け花等の展示	温海芸術文化協会	作品は、どれも作り手の想いのつまったものばかりで、来場された方からは、「素敵だの～」という声も多くなりました。開催時期や期間の見直しの他、より多くの方から出展・来場いただけるよう見直していきたい。	展示レイアウトの工夫や、より多くの方に、来場いただけるよう、交流等の内容の検討・会員への出品への働きかけの徹底の他、広報手法の改善をしていきたい。
5	フォトサロン写楽 写真展覧会	6名の会員の作品と、故 岡崎利男氏の遺作品を合わせて約80点を展示する	フォトサロン写楽	写真愛好者だけでなく、同時開催の来場者も含めて、大勢の方に写真を見ていただく事ができ良かったと思う。展示時間も10時から4時までとしたが、当番の負担も減りながらの成功の写真展であった。	写真の作品作りは1年間ですが、季節を追ってになり、なかなか大変ですが、好きな趣味として負担にならないように写真展への作品作りを心がけていきたい。
6	第22回田川民話の会 語り市 “んだば、語ってみがの 泉町宿”	地元に伝わる昔話・四季折々の話・聞いた事のある昔話を庄内弁を交えて語る。先人の智慧を一緒に。	田川民話の会	今年度は第3学区防災センターでの泉町宿。にこふると隣接しており、集客を期待して臨みました。子どもも楽しんでもらえるよう、大人も懐かしく心が休まるよう取り組み、ステージも手作りのコスモスやススキが映えました。	子どもの集客を見込んだものの、4歳児1名のみであった。学校、保育園等や地域へも宣伝したり、チラシも手配りしたものの、9月に行事も多く、子どもと若い親世代に来場いただくには難しさがある。
7	第54回錦心流琵琶 鶴岡支部演奏会	琵琶語り10曲演奏 1. 金剛石 2. 扇の的 3. 西郷隆盛 4. 細川ガラシャ 5. 法の月 6. 湖水乗切 7. 龍澤山善寶寺 他	錦心流琵琶 全国一水会 鶴岡支部	初舞台2名、初伝、教師免状者の披露演奏や近隣支部の交流演奏、地元の物語を取り入れたの演奏等、また、各曲ごとに筋書が解り易くする為、パソコンプロジェクターによる字幕を大き目に映写し、観客の好評を得ている。	今回は150名余の観客数で少なかった。天候の悪さもあり、PR等一工夫をしても良かった。来年は、第55回の演奏会でもあり、会員一同初心に返り、精進したいと考える。
8	第58回さゞ波会 民謡と舞踊のつどい	唄い継がれてきた民謡20番、演歌その他の舞踊8番 計28番	民謡・民舞 さゞ波会	大悪天候の中、来場して下さった皆様に感謝申し上げます。今回は初心者新会員4名を加えての発表会であったので、不安と期待の公演であったが初心者会員もよく頑張った。開演時間を30分遅くしても良かったと思う。	来年も9月20日に決まっているので、新会員の技量をもう少し磨いて、ご来場の皆さまを喜ばせたい。先人から受け継いだ民謡を鶴岡から無くしたくない。私達は後世に伝承する使命感もある。
9	九重流朝陽清吟会 創設第150回記念大会	構成吟「朝陽の道を生きる」創設以来、第150回大会への軌跡と新たな道程 序章「朝陽の由来」第一章「会員による吟詠」 第二章「楽しい吟詠を求めて全員参加」	日本九重流詩吟 朝陽清吟会	鶴岡市芸術祭は伝統ある輝かしい歴史の上で評価される事が重荷になっていないか？毎回、表彰制度が果たして良いのか？偏っていないか？声のおおきさで左右していないか…このままなら継続が不安。 (芸術とは)	「美しい庄内の山河」の詩歌今昔を模索中です。
10	一東書道会鶴岡支部 42周年かな書作展	1. 2尺×6尺:2点 2. 条幅:9点 3. 半紙:16点 4. 帖:1点 5. 扇面:10点 6. 古典:9点 (合計47点)	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	今年は、西行の詩を題材にと思っていましたので、暫くしまいでいた、西行花伝を開いて作品にしてみました。第19回芸術祭の参加は、生徒みんなの日頃の作品を、アートフォーラムに飾れるという喜びです。	今年はNHKの「光る君へ」という大河ドラマの影響か、和紙に筆で書かれる流麗さが、展覧会会場でも話題にしながら見てくださるお客様もおりました。これからも、日本の文化遺産を継承して行きたいと思っております。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
11	遠州流茶会	薄茶 二席	遠州流茶道山形支部	茶席作りにアートフォーラムの職員の方達の協力は大変助かり感謝いたします。陶芸の作品展もあり、待ち時間に見学した様でお互いに良かったと思います。お待たせしない様に心掛けスムーズに出来たと思います。	少ない人数で多くのお客様の茶会対応となり、提出用の写真を撮る余裕がなく、良い写真がなくて困っています。来年からは支部員に写真撮影の方をお願いしなければと思っています。
12	第2回ステンドグラス“光彩”作品展	会員によるステンドグラスランプ、パネル、小物等の作品展 10月5日「星のパネル制作体験(無料)」先着順	ステンドグラス“光彩”	作品展は2日間の開催で868人の来場者でした。今回初めての試みで「星のパネル制作体験」を実施し、会期中に展示しました。体験先着15名と募集しましたが、多くの方から希望があり対応に不備がありました。	個々の表現、技術を高めた作品作りに励み、ご来場いただく方々に感動を与える事の出来る作品制作を目指したいと思います。
13	第62回鶴岡市合同短歌会	一般市民並びに同好者 自由詠一首(未発表のもの)を投稿ください	第62回 鶴岡市合同短歌会 実行委員会	第62回合同短歌会の応募者の出詠の出だしが大幅に遅れ心配したのですが、最終的には41首の応募がありホッとしました。当日、会場に於いて「聞こえますか?」の呼びかけはしたが、会終了後に「マイクの通りが悪い」との指摘を受け心苦しく思っています。	毎年のことながら、短歌人の高齢化が進み、詠む人、運営する人の減少が現実の状況である。そのような中で、若年層・20代～40代への呼び掛け、口語短歌の取り入れ等、いま一度、会の在り方そのものを見直す必要があるのではと思います。
14	ミュージカル 「蜂子の皇子物語 ～神様と友達になった 夏休み～」	5年ぶりのタクト大ホール公演! コロナ禍での出会いと別れを秘めて稽古した思いの詰まった舞台を見てください。	出羽庄内 市民ミュージカル若手塾	5年ぶりのタクト公演。県の「有形・無形の文化財に関する若者世代への学びの機会創出」として助成事業でもあったので、若い世代に参加してもらう目的があった。幸い、多くの団体からストーリーに合わせて出演していただけたこと、深く感謝している。若い世代の出演決定時期が遅くなり、苦勞をかけてしまった事が反省点。が、小4からの若手3人組が、短期間で驚異的な演技力を発揮した事に新たな可能性も感じた。	若年世代の参加については、芸文協のこども文化クラブ事業に助けられた。来年度は新作で、若年世代と共に確認・発信するミュージカルの創出を予定している。家族で楽しく観劇していただけるような作品にしたい。
15	第4回佳興の会公演	尺八・琵琶・三味線などの邦楽器による演奏、他7ジャンルによる共演など	佳興の会	会を重ねるごとに演奏を楽しみに来てくださる方が沢山おられることは有難いことです。琵琶と長唄三味線に加えて、今回は秋の抒情溢れる、心に染み入るクラリネット演奏が好評でした。	4人のメンバーのうち、一人が家庭の事情で欠席となりました。全員揃って継続していく難しさも感じますが、それぞれの精進の糧として、今後も出来る限り皆さまに喜んでいただけるライブの開催を行っていきたい。
16	荘内金管合奏団 秋の公演2024	オリジナル作品から、ベニスの謝肉祭、リベルタンゴ、フレールジャックなど、世界各国の音楽を華やかに重厚な金管楽器の響きでお届けする	荘内金管合奏団	今回の演奏会はタンゴ音楽をメインに【情熱と哀愁】というテーマのもと、国内外のパラエティに富んだ楽曲を演奏。沢山のお客様からご来場いただき、盛況のうちを終了することができ、演奏する者として至上の喜びでした。	演奏精度・音楽性の向上を目指しメンバー一丸となって練習に励むと共に多くの方々から聞いていただけるよう、宣伝広告に力を注ぐと共に、解りやすい企画・コンセプトにてお客様と楽しい時間を共有できるようにしたい。
17	第91回つるおか小品盆栽展	会員が各々5点～15点の20cm以内の盆栽を飾り台に配し、自分がイメージした秋の風情を演出する	鶴岡小品盆栽会	市芸術祭に多くのサークルの参加で当会の展示にも力が入り会の活動のモチベーションもあがり盛り上がりました。もっとパラエティに富んだ展示をしたかったのですが、気候相手ではいたし方なく、日常管理を研究していきます。	とにかく会の活動の活性化と会員数の増強に尽きると思います。観賞する側から、盆栽をもって育てる側になってくれる人を増やすため、地道に辿っていきたいと思います。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
18	第61回各流派合同いけばな展	鶴岡市の華道6流派でそれぞれの持ち味を出して展示する 出瓶数約140名の予定	鶴岡市いけばな6流派	今年度は6流派の参加となりました。2流派の出瓶数が少なくなったため、昨年までは1階、2階に展示でしたが、2階は1/2でのスペースの展示となりました。初めての試みですが、個性ある作品を楽しんでいただけたと思います。	いけばな会員数が減る中で、来年も参加出来るか考えている流派もあります。今年のように会場の面を減らす等して金銭的な負担も少なくなるよう、各流派が協力し、6流派で「合同いけばな展」を開催したいと思います。
19	表千家流茶会	薄茶 二席	表千家同門会 山形県支部庄内地区	入館者から「史跡致道館での茶会は、文化的景観に風情や感動があり、鶴岡の茶道人口の多さに驚いた」との感想が聞かれた。 文化財である致道館での茶会は、安心安全な茶会を開催するために、細心の注意を払いながらも難しさを感じた。	茶券の当日券協賛者が26名で多数の方々が入館されて、表千家流の茶道の広報につながった。 お菓子、お茶が足りなくなる心配があるため、事前に人数が把握できればありがたいと思う。
20	第29回庄内写真研究会写真展	参加会員6名で、1人5点から10点、半切から全紙までの作品を展示する	庄内写真研究会	昨年は、市芸術祭優秀賞を受賞し、今年は全員が特段と力を入れた作品が揃い、展示する事が出来ました。今回も、四季に渡る大自然の風景を各自独自の視点で撮った作品52点は、観覧者の皆さんに熱意と感動を伝える写真展となり、大好評を賜り盛況に終了しました。	来年度は30年と節目の年に当たり、会員各自が一層研鑽に励み節目の年に相応しい感動が伝わる作品づくりに専念したいと思います。会員が独自のテーマに挑戦し、独創的・個性豊かな作品を展示して、観覧者の皆さまに情熱と感動を伝えられる発表会を目指して精進します。
21	第30回飛雲会展	第30回目の節目を迎え、会員による創意工夫の作品を発表すると共に、会員の相互の親睦を図りたい	書道研究飛雲会	平成6年、第1回目の展覧会を皮切りに今年30回目の節目を迎える事が出来ました。幾多の経験を活かし、益々熟練度が上がる事を期待し、40回目を目標に精進したいと思います。	今年30回目の節目を迎える事が出来ましたが、更なる精進を重ね、来年度への糧としたいと思います。
22	如月会水墨画展	水墨画約50点、色紙～屏風、50号までの作品展示 花、風景、山水等	如月会	出品点数は過去最高で、屏風、掛軸4～50号、色紙等合計59点でした。ジャンルは、山水・風景が多く、次に花・静物・人物でした。今回は画集作成のために、ライト反射が出ない様に、全ての額のガラスを外しました。	常に基本に立ち返って、会員の相互交流、研鑽を積み内容の充実に努めます。水墨画を始めてみたい人へ入会を勧めます。
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の作品展示	朝日俳句の会	俳句部門においては、小中学生のほぼ全員から出品があった。なお、川柳は出品数が減少傾向にあるので、参加者の拡大が必要と考える。俳句196点、川柳18点で、趣向を凝らした作品が多かった。	今後も小中学生からは数多く出品してもらえよう各学校と連携していくとともに、今まで以上に俳句等に親しんでもらえよう、児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同、より一層の研鑽に励んでいきたい。
24	裏千家秋の茶会	濃茶(各服)一席 薄茶一席	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	秋も深まり落ち着いた天候のもと、300人近くの方々にお出でいただきました。10度も席を行うことができた素晴らしい一日でした。	来年度も参加させていただきたいと思います。趣向を新たに、支部一同、努力してまいります。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
25	日本九重流鶴城清吟会 第48回吟詠大会	教場課題吟(頼山陽)若手吟詠、書道吟、茶道吟、歌謡吟、民謡吟、コラボ吟(琵琶一水会・剣聖会)	日本九重流鶴城清吟会	毎年10月末の日曜に、中央公民館ホールで公演しております。一人でも多くの来場をと頑張っていますが、なかなかご来場いただくのが難しい状況です。今後、より多くの方に、公演を見ていただけるよう、より一層工夫していきたい。	令和8年に鶴城清吟会は50周年を迎えます。今年と来年はその大会の準備として、50周年を見据えた公演としました。会員も、ご来場いただくお客様にも楽しんでもらえる吟詠大会を目指し、歌謡吟・民謡吟、他団体とのコラボ等も計画しています。
26	宝生流・観世流合同謡曲大会	謡曲・仕舞・舞囃子等 宝生流・観世流各団体の合同発表会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会 他	日頃稽古をしても中だるみが出てきたりしますが、ひとつ発表会があると、それぞれに練習にも身が入り、評価されることも励みになります。今年はチラシを各所に配し、それが興味を持たれてお客様が増えたと思います。	現在3団体での開催となっており、参加団体を増やしたいところですが、大変難しいことでもありますので、まずは自分達の会員を一人でも増やして、少しでも長く続けられたら良いと思います。
27	庄内水彩展	会員16名の水彩画 合計60点を展示	庄内水彩画会	お陰様で、展覧会を大勢のお客様に見ていただけたと思っています。案内状の数量と配布方法には反省点があり、改善し次回に繋げて行きたいと思っています。	次回は、会場内のパネルを大きくして、ゆったりとした展示会場にしたい。
28	第76回荘内書道展覧会	幼児から中学まで課題があり、高校は自由と応募している	鶴岡書道会	前年度より約60点くらい多くの出品数があり、嬉しい事でした。会場に隙間なく上手く作品が展示できました。	来年も多くの出品数・出品者数を見込みたいので、要項の配布時期を早めたい。
29	第15回写団はぐる会員写真展	庄内地方の四季の風景や色々な光景に各自の視点で撮りまとめた作品を発表する	写団はぐる	今回は4人での写真展となり、作品数も前回より少なかった。それでも各自の視点で撮ったバラエティに富んだ展示となり、大勢の方に観に来ていただき、感謝と次回への意欲もわいた写真展となった。	会員写真展が無事終了し、反省会で来年度も「やまぶし温泉・ゆぼか」「羽黒庁舎ロビー」「羽黒芸術文化祭」「鶴岡アートフォーラム」での展示に向けて、写真展示をする各自の意気込みを再確認した。
30	秋季さつき盆栽展	さつき全体はもちろん、鉢や根張りや年数など長い間、形がくずれないように剪定してきた努力をご覧いただきたい	鶴岡さつき盆栽研究会	小品盆栽や紅葉した鉢に人気集中する。秋の展示会を11月8日(金)から3日間、中央公民館で開催したが、静かな展示会となった。	過去のさつきブームの頃の様子を思っても仕方ないが、今後どうなるのか…。ささやかな趣味として楽しみたい。
31	表現舎刻一刻 第21回公演 龍伝・小太郎	朝井まかて原作「雲上雲下」より 脚本・演出 佐藤正一 2幕28場(休憩15分)	表現舎刻一刻	民話を素材にした今回の作品は、永年舞台化を検討してきて、ようやく実現する事が出来た。子役から80歳までの役が必要だったので、物語としても深みのある場面を展開することが出来た。暖房の音が気になる方もいた。	来年度は、大衆演劇の魅力を広めるために東北各地より、新舞踊の先生方、並びに若年の舞踊家を招聘し、表現舎刻一刻～夢一座劇場～として多様な舞踊劇を上演する予定です。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
32	第22回バウムクーヘン オータムコンサート2024	各種音楽コンクール受賞者や 音楽の道を志す受験生、音楽 を学んでいる大学生などによる ピアノ・声楽・器楽演奏	バウムクーヘン	今年の公演には、幼児から大学生までの83名が出 演した。演奏者が、これまで積み重ねてきた練習の成 果を十分発揮できたと思う。今しか奏でられない「時間 芸術」を演奏し、ひとりひとりが輝いた演奏会になった。	演奏者の皆さんにとって、励みや飛躍の場となるよう に、そして、その成長をお客様にも届けられるようなコ ンサートにしたい。また、指導者の更なる向上と発展を 目標として、活動していきたい。
33	劇団だいこん座 第81回公演 「雨のち曇り時々晴れ」	作・演出 サトウ マユミ オリジナル台本でお届けしま す！	劇団だいこん座	当日は寒気に見舞われ、外出もためられるような 天候だったが、「3年ぶりの舞台を楽しみにしていた」と いう多くの声が聞かれ、改めてお客様のありがたさが 身に沁みました。ありがとうございました。	認知症というテーマに、興味のある方がいるか半信 半疑であったが、予想を大幅に上回る反響で、介護な どの問題にも、今後取り組んでいきたいと思います。
34	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞を観客と出演者 が「楽しさ」を共感し合える2時 間です。構成舞は「戦国絵巻・ 川中島の戦い」です。	剣聖流剣詩舞 鶴岡剣聖会	今年も会員一人ひとりが精一杯演じ「いい発表会」を 創ることができたと自負している。会員の減少により、 一人舞いが多くなったが、そのため舞う力が高まった。 観客の方々より「来年も観に来るよ」「楽しかったよ」と いう言葉をいただき、それに応えていきたい。	鶴岡で創流した剣聖流剣詩舞を「鶴岡の文化の一つ にしたい」を今後も目標にして発表会を継続していき たい。会員の減少と高齢化という課題はあるが、「細く・ 長く」「楽しく」稽古に励み会員の生きがいとしたい。
35	鶴岡吹奏楽団 第39回定期演奏 会	鶴岡吹奏楽団による吹奏楽の 名曲やポピュラー曲等で送る演 奏会 指揮：小塚 類	鶴岡吹奏楽団	今回は、ゲストに国際コンクールで優勝経験をもつ、 世界的に有名なトランペット奏者のアンドレ・アンリ氏を お迎えし、非常に華やかなステージとなった。馴染み のある映画音楽を披露し、満足度の高い演奏会となっ た。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根差す社会人吹 奏楽団として、吹奏楽の魅力を表現し、地域の吹奏楽 の発展に貢献できるよう、より一層精進して参りたいと 思います。来場いただきました皆様、ありがとうございました。
36	鶴岡土曜会混声合唱団 第73回定期演奏会	I ヨーロッパのアカペラ曲 II 「祝福あれ」 III コンクール演奏曲 IV 愛唱歌～歌の花束	鶴岡土曜会混声合唱団	満員のお客様の温かな雰囲気にも励まされて「赤とん ぼ」は心に沁み込む演奏ができ、「大地讃頌」「群青」 は洲上千里氏のピアノと共に、思いがあふれる演奏に なりました。ステージと客席の一体感を感じた演奏会に なりました。	来年度も全国に誇れる地域の市民合唱団として、宗 教曲から日本の名曲を中心に、様々なジャンルの合唱 を楽しんで、市民の皆さまの心に届く歌を歌い続けて 行きたいと思います。
37	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第24回定期演奏会	スタンダードジャズを2部構成で お届けします 1部 演奏 2部 ゲスト歌手(阿川泰子さん 予定)のオンステージ	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	本年も多くのお客様を迎えることができ感謝してい る。例年、駐車場の案内に苦慮し、本年はシルバーの 方をお願いしてみたが、案内先の駐車場も一杯で… とのことで、来場者の方にはご迷惑をお掛けしまっ た。	来年は25回目となるが、変わらずに楽しめるステー ジを目指して準備を進めていきたい。

5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名		実施日	会場	参加者 (出品者) 数	作品数	入場者 (延)数	
藤島	ふじしま文化フェスティバル	芸能発表部門	11/4(月・休)	藤島地区地域活動センター	62	15	130	
		第52回藤島芸術文化祭	展示部門	10/25(金) ~10/27(日)	藤島地区地域活動センター	63	151	149
		茶会等	10/27(日) 合同茶会 10/27(日) 民話の語り 10/30(水) 囲碁大会	民話: 藤島地区地域活動センター 茶会・囲碁: 藤島ふれあいセンター	15	—	112	
	第105回明治ホールコンサート (文化講演会開催せず、代替事業)		11/23(土・祝)	東田川文化記念館明治ホール	—	—	71	
	第35回ふじしま音楽祭		11/2(土)	藤島地区地域活動センター	168	12	121	
羽黒	令和6年度 羽黒芸術文化祭		芸能発表会	11/3(日・祝)	羽黒コミュニティセンター	123	18	240
			作品展示	11/2(土) ~11/4(月・休)	羽黒体育館	636	849	371
櫛引	令和6年度 第56回くしびき文化祭		研修部門	10/5(土)	寒河江方面	18	—	—
			展示部門	11/1(金) ~11/4(月・休)	櫛引生涯学習センター	546	754	764
			発表部門	11/10(日)	櫛引生涯学習センター	200	—	400
朝日	令和6年度 あさひ産業文化まつり		芸能発表部門	10/25(金) 10/26(土) 11/3(日・祝)	朝日中学校体育館 あさひ小学校体育館 朝日中央コミュニティセンター	252	24	400
			作品展示部門	10/25(金) ~11/4(月・休)	朝日中央コミュニティセンター	703	737	1,200
温海	令和6年度(第41回)温海文化祭		ステージ発表	11/3(日・祝)	温海ふれあいセンター	68	15	300
			展示部門	10/19(土) ~11/3(日・祝)	温海ふれあいセンター	402	725	2,880

6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点と来年度への抱負

地域	事業名	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
藤島	第52回藤島芸術文化祭	<p>今年度は「藤島芸術文化協会発表会」と名称を改め開催。芸文協の加入団体・個人が日頃の練習の成果を存分に発揮し、例年通りの盛り上がりを見せた。また、スペシャルゲストとして、酒田フィルハーモニー管弦楽団のメンバー4名による「弦楽カルテット」に出演いただいた。普段なかなか聴く機会のない弦楽器の生演奏は、観客からも大変好評であった。内容のマンネリ化が課題であったが、ゲストの出演によって新たな風を吹き込むことができた。当日、出演者や曲目の変更が急遽発生し、タイムスケジュールの管理に手間取った。次年度は柔軟な進行管理に努めたい。</p>	<p>出演者、観客ともに減少傾向にある。子どもが出演する時間帯(太鼓等)は家族が見に来るので観客が多いが、出番が終わると一斉に帰ってしまうため対策が必要。また、同時期に各地域の文化祭も重なっているため、集客に苦しんでいるが、地域の人(特に若い世代)が足を運んでくれるよう引き続き工夫していきたい。</p>
	第35回ふじしま音楽祭	<p>準備・後片付けはスムーズに行えたが、各団体の会員の高齢化により、もう少し人手が欲しいとの声があった。最終日、撤去開始の時間前に自分の作品を片付けてしまう出展者がいたため、今後は注意したい。新たな試みとして、ギター・三味線・短歌作り・書道の体験コーナーを設置したが、事前の周知が足りず、参加者はごく少数だった。次年度は早い時期から広報地域版や文化フェスガイドで周知を行い、来場者の増加を図りたい。</p>	<p>出展数が年々減少している。来場者の減少も懸念される。同時期に各地域の文化祭があり、児童や生徒の作品がそちらに出展されるため、集客にも影響している。老人クラブや保育園、学校と連携し、広く出展を募りたい。</p>
	第35回ふじしま音楽祭	<p>実行委員会の反省として例年より観客数が減となり、周知方法や開催内容の検討が必要との意見が挙げられた。出演団体も他の団体の発表を鑑賞するなどできることから実践していく。出演者公募により新たに1団体加わり新たなジャンルの音楽を聴くことができた。時間が早まりタイムスケジュールどおりには行かなかったが、大きなトラブルもなく実施することができた。</p>	<p>来場者数が年々減少傾向にあるため、広く周知を行うなど、来場者を少しでも増やせるような対策を模索していきたい。また、出演者については引き続き公募を行い、出演団体を増やしていきたい。</p>
羽黒	令和6年度羽黒芸術文化祭	<p>昨年度より出演団体が5団体増えた。今年度新規加入した団体の他、羽黒芸術文化協会以外の団体の出演もあり、新しい分野の発表に会場も盛り上がった。子ども達の発表もあり保護者などが多数来場した。また、各団体の日頃の練習の成果を発揮し、たくさんの観客に楽しんで頂くことができた。 団体の出演時間については、1曲の時間の確認、調整が必要だった。</p>	<p>来年度も多くの団体から出演してもらい、より多くの観客のもと、日頃の練習の成果を発表できるよう取り組む。また、団体の活動PRの場にする事で新規会員の取り組みに繋げる。</p>
	令和6年度羽黒芸術文化祭	<p>小学校の作品は、図画・習字等いずれかに出品されるよう配慮していただき全児童の作品を展示している。中学校からは絵画作品や、運動会で製作した大型の看板も出品していただき今年も展示した。また、羽黒高校書道部のレベルの高い作品も出品され、見ごたえのある展示となった。羽黒芸術文化協会会員を含めた個人等一般作品は、出品者数、出品数ともに昨年より少なかったものの、今まで参加したことのない個人からの絵画や手芸品などの出品もあり充実した内容となった。 地域の方々から数多くの作品を出品していただけるよう、早い段階で声掛けをお願いする。</p>	<p>小中学生の人数の減少や出品者の高齢化により出品数が減少傾向となっているが、児童生徒や地域住民の作品を鑑賞する良い機会であり、今後も広く周知を図る。 また、羽黒地域で活動しているサークル等へ呼びかけるほか、地域住民からより多くの出品が得られるよう早めの出品依頼に務める。</p>

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
櫛引	令和6年度 第56回くしびき文化祭	研修部門	慈恩寺をメインとして寒河江へ行った。慈恩寺ではちょうど70年ぶりの茅葺きで、きれいな屋根をみる事ができた。古澤酒造資料館を見学し、寒河江芸術祭が開催されていたので、コチラも見学した。皆さんとても満足していた。	山形の文化財について、学べる環境を作り続ける研修旅行としたい。
		展示部門	耐震工事後に久しぶりにセンター内で開催された。多数の出展作品をお借りし、例年通りに開催することができた。	観覧者数が減少傾向にあるので、改善したい。
		発表部門	耐震工事後初めての開催。特別出演枠を含み、10団体に参加していただいた。	年々公演に出られる団体が減少しているため、参加団体を増やす必要がある。特別出演団体のおかげで、例年になく、最後まで席にいる観客が多かったと思う。こうした魅力あるプログラムや団体に出たいいただくことも考える必要がある。
朝日	令和6年度 あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10月25日の朝日中学校合唱祭では、学年ごとの迫力ある歌声、美しいコーラスが響き、10月26日のあさひ小学校学校祭では、学年ごとにダンス、劇、合奏、合唱の発表がありそれぞれ聴衆を魅了した。 11月3日には、朝日芸術文化協会の加盟団体等による8組10演目の芸能発表が行われ、和太鼓や、舞踊、詩吟、コーラス、ダンスなどの発表を、出演者、観客ともに楽しむことができた。	地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。 また、あさひ小学校学校祭と朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、小中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらう貴重な機会となっている。
		作品展示部門	今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。	小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携を取りながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても朝日芸術文化協会の加盟団体等と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。
温海	令和6年度 (第41回)温海文化祭	ステージ発表	・観客が少なく会場の活気がない。 ・会員の高齢化等による体調不良などのため出演を見送った団体もあった。	・展示やステージ発表の内容を見直し、体験や交流等を検討する。 ・学校での活動に連携した発表や展示を検討する。 ・全戸への周知タイミングについて、もうひと月前倒しする。
		展示部門	・児童の減少による出展作品減少はあったものの、トータル作品展示数は昨年並みだった。また、展示期間が昨年より長かったことから来場者数も微増という結果だった。	

7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

参加公演

年度	鶴岡市芸術祭					県民芸術祭		
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数	
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23	
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38	
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38	
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46	
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43	
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38	
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46	
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43	
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36	
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32	
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38	
平成29年度	第12回	42	52	3,266	22,688	27	35	
平成30年度	第13回	40	49	3,223	24,782	26	34	
令和元年度	第14回	42	51	3,070	24,309	28	36	
令和2年度	第15回	市・県ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
令和3年度	第16回	28	30	1,975	11,940	17	19	
令和4年度	第17回	35	44	2,481	16,087	22	30	
令和5年度	第18回	38	45	2,150	18,544	22	29	
令和6年度	第19回	40	47	2,373	18,836	27	34	

参加公演数 地域別内訳					
鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
39					
39	2			3	
42	1	1	2		3
39	3	1		1	2
41	2	1		1	2
38	2	1		1	2
40	2	1	1	1	1
40	2	1	1	1	1
34	1	1	1	1	1
37	1	1	1	1	1
41	1	1		1	1
39		1		1	1
37		1		1	1
		1		1	1
中止のため参加なし					
26				1	1
32		1		1	1
34	1	1		1	1
37		1		1	1

第19回鶴岡市芸術祭における施設別公演等開催状況

施設名称	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	備考(参加公演数内訳)
①中央公民館	13	13	357	3,301	展示(3)・公演(10)
②荘銀タクト鶴岡	6	6	283	3,683	公演(6)
③アートフォーラム	12	17	1,329	9,713	展示(10)・茶道(1) 公演(1)
④市内の上記以外公共施設 (図書館・コミセン・黒川能伝習館・致道館)	6	8	310	1,578	展示(1)・公演(2) 文芸(2)・茶道(1)
⑤その他(民間施設等)	3	3	94	561	公演(2)・茶道(1)
合計	40	47	2,373	18,836	

協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第 1 回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第 2 回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第 3 回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第 4 回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第 5 回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第 6 回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第 7 回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第 8 回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第 9 回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10 回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11 回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
平成29年度	第12 回	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250
平成30年度	第13 回	522	2,605	1,005	920	694	1,451	1,439	1,800	703	2,250
令和元年度	第14 回	693	2,600	1,013	870	675	1,659	1,318	1,700	553	1,400
令和2年度	第15 回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止									
令和3年度	第16 回	383	360	中止		184	1,350	758	700	851	1,420
令和4年度	第17 回	336	302	784	457	596	917	912	1,300	611	1,397
令和5年度	第18 回	354	587	731	551	715	828	1,055	1,700	559	3,225
令和6年度	第19 回	308	583	759	611	764	1,164	955	1,600	470	3,180

